

地域防災拠点の防災訓練を終えて

12月10日、中和田中学校地域防災拠点の防災訓練が行われました。この4年間、少人数での座学的な訓練で終わり、4年ぶりの大きな訓練でした。

この2か月間、行政の担当係長との打ち合わせや、パソコンからの精査など、多忙を極め、資料も詳細に作ってきました。

当日の流れを振り返ってみると、役員関係60名が9時半に体育館に集合。その前に備蓄庫から靴カバーと役員用資料を体育館に準備し、皆を待ちました。



体育館でセクション別に資料を基に今日の流れと、準備する資材、その格納場所などを説明。

10月での最後の会議の時に打ち出した内容とはずいぶん変わってきている。10月28日に行われた「モデル防災訓練」で、流れを変えた。そのための役所との打ち合わせを重ねた。できた資料は各町会や学校、担当職員にメールで連絡を取り合ってきた。

各セクションごとに準備を進め、10時には一般避難者と体育館に合流し、当日のプログラムに従って、東町の畑中会長の司会で進められた。

運営委員長・学校長・区役所・来賓（山崎誠・さかい学の各秘書）災害時の担当職員の紹介。



委員長よりプログラムの最終説明を行い、4班に分かれ訓練に入った。

1) 職員：職員室において無線電話で区役所と解説にかかる訓練

災害時には、防災委員会担当職員は、この避難所には来ません。今日紹

介された4名（3名が出席）を中心に会場を開設し、運営が始まります。開設のための、無線連絡を職員室から行いました。

2) 設備班：トイレ関係の説明。備蓄庫の資機材を使って、自宅でのトイレの使い方、今後設置される「はまっこトイレの原理と使い方。

はまっこトイレは、マンホール関係は設置され、講習を受けましたが、ボックス関係は3月に備蓄庫に配置されます。

今回は、委員長手作りの簡易トイレと、備蓄庫の簡易トイレを使い、自宅での水が出ない状況でのトイレの使い方。初めに45Lの袋を便器にかぶせる。これは便器の中の水が抜けないために1枚袋を入れておく。次に便座の上からもう一枚袋を入れる。ここに用を足して凝固剤を入れ、固まったものを一般ごみとして出す。はまっこトイレについても簡単に説明。



3) 救出・救護班：発電機を中心にした、投光器やスマホの充電。手元用の携帯電気など。

モデル防災訓練では、発電機の使用法で投光器のみだったが、今はスマホが命よりも大事。投光器は発電機が1時間しか持たないが、備蓄庫には手元用の簡易ランタンが120個ある。これは電池がなくなれば、ハンドルを回して蓄電できるもの。本校の備蓄庫にはスマホ充電用の資材は備えてある。(実は南ハイツからもって来たもので、早急に買い備える。) 簡易ランタンと常夜灯についても説明。



4) 庶務班：避難場所のスペースについてとテーブルと椅子を使った休憩所の設定、など、従来と違った設定も試みた。

養生シートを廊下代わりに使い、そのわきにレジャーシートを引いて使用した。一畳と広いところを設定し、一畳には寝返りも打てるよと試してもらった。コロナ前には体育館に200名を設定していたが、今は100名となっている。多くの方が詰めかければ考慮することもあると思われる。休憩スペースは写真がないので、モデル訓練の時に物を利用。



中田中学校での写真

5) 情報班：受付を中心とした、緊急電話、無線機器を利用した通信機器。

受付では靴カバーと資料の入ったファイル配布など多岐を極めた。

中田中学校でのモデル訓練の時の受付部門のすばらしさに感銘し、無線協会のメンバーに声をかけてあった。その後の確認を取ってなかったのが、心配していたが、素晴らしい訓練を行うことができた。

電話機は保管してあったものの、配線のジャックがどこかわからない。これも体育館の外にあることがわかり、正規に設置し、実際に使ってみることもできた。無線関連では、資機材をすべて持ってきてくれ、固定無線と移動無線など、必要不可欠なものであることも学習できた。避難者受付カードでは、町会ごとに色分けしてあり、非常に分かりやすくなっている。





電話機のモジュール



6) 炊き出し班：従来は豚汁やカレーの炊き出しを行っていたが、モデル訓練では備蓄庫の配給を行っていた。まず備蓄庫にあるものからが、必然であった。水缶をはじめ、クラッカーやおかゆなど、45箱も入れ替えて不要になってくる。これを期限が切れる前に受け渡し訓練として使用。

水缶2個・保存パン1個・クラッカー・おかゆ・カレー・ごはんを120人分用意。これを4カ所回って、最後の解散前に引き渡すことにした。水缶など残ったものは欲しい方にわけた。



後書き

10月の最後の会合の時には一定の打ち出しと、流れが決まってホッとしていたが、モデル訓練を見てから頭の中の流れが変わった。役所の担当職員とも何回も打ち合わせ。その都度各会長や危機管理係にもメールをしたり、一日も心の休まることはなかった。

当日まで心配したが、開けてみてびっくり。こんなに素晴らしい訓練ができるのか。任期満了で喜んで心置きなくバトンタッチできる。次の委員長には、陰からそっと応援したい。 令和5年12月10日 19:00